

ニホンカモシカ を見かけたら

～特別天然記念物ニホンカモシカの保護について、ご理解とご協力をお願いします～

近年、市内各地でニホンカモシカの見撃情報が数多く寄せられています。お住まいの近くなどで「ニホンカモシカ」を見かけた場合は、以下の対応をお願いします。

■基本的な対応

①近づかない（立ち去る・見守る） ②逃げ道をふさがない ③驚かせない

■元気な場合⇒基本的な対応をとり、静かに見守ってください

- ・ニホンカモシカは野生動物の中でも比較的小となしく、むやみに人に危害を加える動物ではありません。帰巢本能があり、時間が経つと山に帰っていくので、静かに見守ってください。反芻（食後の休憩）のため、数時間座り込んでいることもあります。なお、石を投げたり騒いだり、犬に吠えられたりすると興奮してパニックになることがありますので、ご注意ください。
- ・原則として、ニホンカモシカの保護（捕獲）はできませんが、生活や交通の妨げになっている場合や、自力で山へ戻るができないような場合は保護（捕獲）しますので、市教育委員会にご連絡ください。

■ケガ等で動けなくなっている場合 ⇒市教育委員会にご連絡ください

■死亡している場合

- ・生活や交通の妨げになっている場合などを除き、なるべく動かさないでください。
※動けなくなっている場合は、現場を確認し、保護（捕獲）などの必要な対応をとります。
※死亡の場合は、国に届出をする必要があるため、検死等の作業を行います。

[連絡先] 平日 8:30～17:15 教育委員会生涯学習課（電話 22-3442）

夜間及び土・日・祝日 気仙沼市役所（電話 22-6600※）

※警備員室につながります

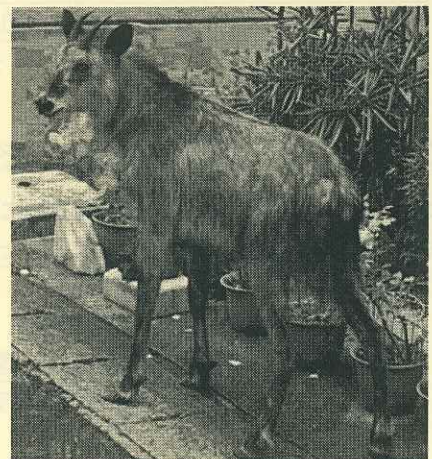
■子どものカモシカの場合⇒静かに見守ってください

- ・母親カモシカが近くにいることがほとんどで、母親カモシカは人間を警戒して物陰から様子を伺っています。時には子どもを守るため、威嚇したり攻撃してくる場合もありますので、ご注意ください。
- ・カモシカに限らず、幼獣の動物は一度保護してしまうと野生復帰が困難になります。自然の中で過ごすことがカモシカにとっても最適なことなので、むやみに近寄ったり触ったりせず、静かに見守ってください。

<ニホンカモシカとは>

日本固有の種として昭和9（1934）年に天然記念物に指定されましたが、戦後の密猟などによって個体数が激減し、昭和30（1955）年に特別天然記念物に指定され、保護政策がとられています。

オス・メスとも体格差は無く、成獣は体長約1m、体重は30～40kgになります。枝分かれしないツノがあり、体色は黒褐色や灰褐色が多いですが、白灰色から茶色まで、個体差があります。反芻性の草食動物（ウシの仲間）で、岩場や急傾斜がある森林を好んで生息しており、山の岩の上など見晴らしの良い場所で何時間もジッとしていることもあります。成獣の行動範囲は決まっており、定着性が強く、同じ場所でよく見かけることがあります。



[市内に出没したニホンカモシカ]

裏面に続く

■こんなときはどうする？（Q&A）

Q ニホンカモシカに畑や花壇を荒らされる。被害に悩んでいる。⇒A 対処法を考えましょう

人里まで生息域を拡大したニホンカモシカは、農作物に被害を及ぼすことがあります。防護柵（ネット）の設置などを行うことで、被害のほとんどを防ぐことができます。

●物理的防除・忌避効果による防除

物理的：金属網やネット、電気柵などの防護柵設置が全国的に行われています。ニホンカモシカは柵の間を通り抜けたり登ったりはしないので、上手に設置すればほとんどの被害を防ぐことができます。ただし、ネットの場合は網目の大きさにご注意ください。漁業用の網など、目が大きい場合はツノや手足が絡まりやすく、絡まった網を振りほどこうとして、大暴れすることがあります。

忌避効果：ニホンカモシカはネギやマリーゴールドなど、匂いの強い植物を嫌うとされているので、畑や庭の周囲に植えることで忌避効果があります。（ただし個体差があるようです。）

●それでも被害にあったら…

柵を設置しても被害にあったら、まずその原因を考えましょう。侵入口となるような隙間はありますか。柵の高さ（1m以上）は十分ですか。電気柵の場合、電圧もチェックしてみましょう。

Q 「ニホンカモシカ」か「ニホンジカ」か区別できない。⇒A それぞれの特徴を覚えましょう

名前が似ているため混同されがちですが、ニホンジカはシカ科の動物であるのに対し、ニホンカモシカはウシ科の動物でヤギの仲間近く、生物学的には別の動物です。最も大きな違いはツノです。どちらか迷った場合は、ツノを確認してください。なお、幼獣の場合はどちらもツノが無いので、体色などで確認してください。

	ニホンカモシカ	ニホンジカ
成獣		
外見	オス・メスに体格差は殆どなく、外見的な区別はなし。頭から尻までの長さは130cm程度。体高は80cm程度。体重は30～40kg程度。体色は黒褐色～灰褐色（個体差あり）。	オスはメスより大型。頭から尻までの長さは110～170cm程度。体重は40～100kg程度。体色は茶色で、尻部だけ白色。夏場は白い斑点が出る。（冬毛になると茶色が濃くなる場合がある）
ツノ	オス・メスともに枝分かれしないツノがあり、成獣のツノは8～15cm程度。ツノは生え変わらない。	成獣のオスは、枝分かれしたツノがある。成獣のメスと幼獣にはツノが無い。ツノは毎年春に生え変わる。
習性	単独行動が多く、正確は温和。	群れで行動する。性格は非常に臆病。

※ニホンジカの場合は、市農林課に連絡してください（電話22-6600）

Q どうして「ニホンカモシカ」を捕獲できないのか。⇒A 国の天然記念物に指定されています

ニホンカモシカは国の特別天然記念物に指定されているため、捕まえたり殺処分するためには国の許可が必要です。なお、故意に怪我を負わせたり死亡させた場合は、文化財保護法違反となります。

文化財保護法（第196条第1項）

史跡名勝天然記念物の現状を変更し、又はその保存に影響を及ぼす行為として、これを滅失し、き損し、又は衰亡するに至らしめた者は、五年以下の懲役若しくは禁固又は三十万円以下の罰金に処する。

※ニホンカモシカ以外にも、コクガンなどが国指定の天然記念物となっており、同様の対応が必要です。